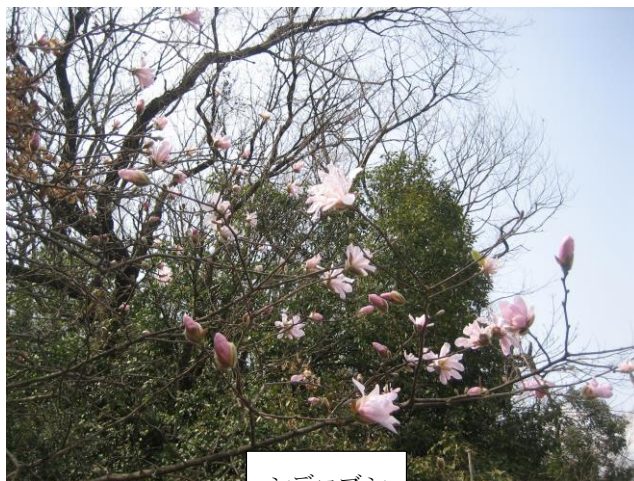


お鋤山 植物たより (H27. 3. 22)

西山橋西交差点から北に向かう市道沿いに紅色を帯びた白色の花をつけた樹木を見ることができます。シデコブシです。日本の固有種であり、東海三県の一部にしか分布していない植物といわれ、国や県の天然記念物に指定されているものもあります。(園芸種が公園や庭木に植栽されている) 豊田市内でも何か所かで見ることが出来ます。お鋤



シデコブシ

山に自生の2本は大木です。(株たちのため6本に見えます) これだけの大木は市内では珍しいと思います。北の谷筋には何本か幼樹も生えており、大切に保存したいものです。



ヒサカキ

ヒサカキの花が満開です。直径5ミリほどの小さな淡黄色白の花が束になって咲いています。下向きに咲いているので見落としがちですが、凝らしてみると可愛い花と分かります。枝はサカキの代用として神前や仏前に供えられます。お鋤山では至る所で見ることができます。

お鋤山の駐車場では多くの野草が咲いています。ホトケノザは紅紫色の唇形花で、半円形の葉のわきに花を数個つけている様が、蓮台にすわっている仏様を連想させることが名の由来とか。ヒメオドリコソウは赤紫色の唇形花を輪状につけています。名の由来は花の形が笠をかぶって踊る人に似ているからとか。オオイヌノフグリは濃色の線状が目立つ、ルリ色の花をつけています。名の由来は犬のふぐり(こう丸)で実の形が似ているからとのこと。いずれの花

も小さいので目立ちにくいのですが、きれいな花です。近くの農道沿いでは群落しています。



ホトケノザ



ヒメオドリコソウ



オオイヌノフグリ